

---

# proNAS OS アップデート手順書

---

proNAS OS Ver.1.1.14-PT

プリンスンテクノロジー株式会社

---

## 必ずお読みください

proNAS OS をアップデートする際は、以下の内容にご注意ください。

- アップデート作業を行う場合は、事前に必ず NAS のデータのバックアップをとってください。
- アップデート OS は proNAS シリーズ共通です。proNAS シリーズ以外の製品にはアップデート出来ません。
- お使いの機器の proNAS OS バージョンは、proNAS Manager より「システムマネージャ」→「情報」タブで表示される「バージョン」の項、または「アップグレード」タブで表示される「ファームウェアバージョン」でご確認いただけます。
- アップデート作業には 10 分～20 分程度の時間を要する場合があります。アップデート作業中は、NAS 及び作業 PC の電源を切らないでください。
- アップデート後にシステムが自動的に再起動します。再起動中は NAS にアクセスすることができません。

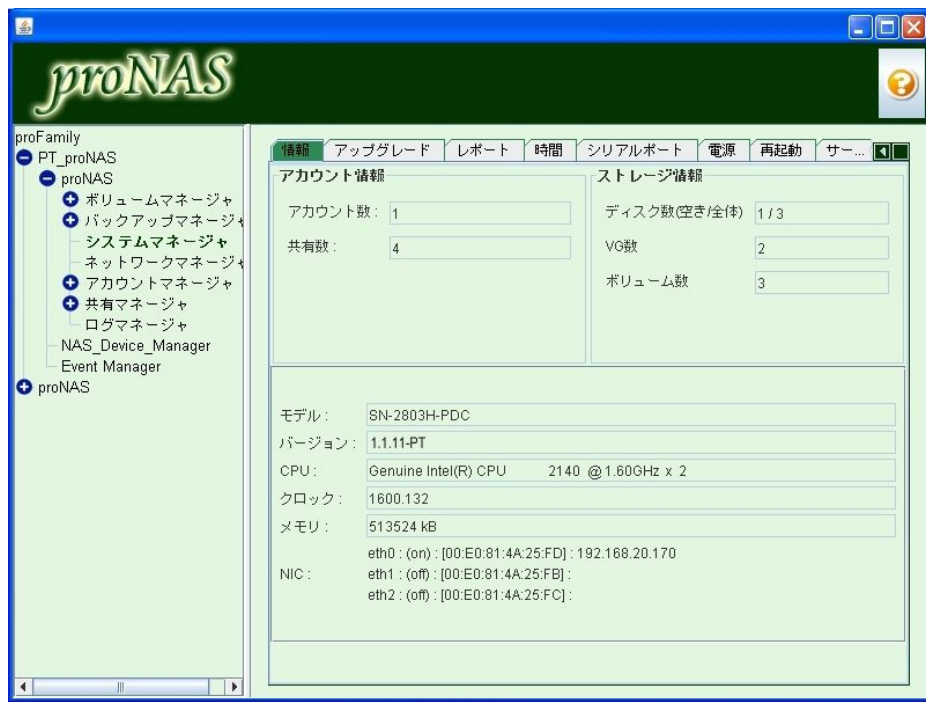
## 目次

<b>1. アップデートの順番</b> .....	<b>3</b>
1.1. 現在のバージョンの確認 .....	3
1.2. 現在運用中 ( proNASVG 作成済 ) の場合 .....	3
1.3. 初期化してからアップデートする ( proNASVG 未作成 ) の場合 .....	3
<b>2. アップデート前の作業・注意事項等</b> .....	<b>4</b>
2.1. 各サービスの確認 .....	4
2.2. proNAS HA をご使用の場合 .....	5
<b>3. アップデート手順</b> .....	<b>7</b>
3.1. proNAS OS のアップデート .....	7
3.2. Service Pack のアップデート .....	8
<b>4. アップデート後の作業・注意事項等</b> .....	<b>9</b>
4.1. 全般 .....	9
4.2. proNAS HA をご使用の場合 .....	9

## 1. アップデートの順番

### 1.1. 現在のバージョンの確認

現在使用しているバージョンによって、アップデートの順番が異なります。システムマネージャ( ) > 情報タブ( )を開いて、現在のバージョン( )をご確認ください。



### 1.2. 現在運用中(proNASVG 作成済)の場合

proNASVG が作成済みの場合、中間のバージョンもアップデートする必要があります。実際は、システムを運用中で、アップデートする前にわざわざ初期化せずに、アップデートを実行するケースがほとんどのはずです。この場合、下表のように、現在のバージョンから目的のバージョンまでの中間バージョンを順番に更新する必要があります。

現在のバージョン	更新の順番				
1.1.07	1.1.08	1.1.10	1.1.12-PT	1.1.14-PT	Service Pack
1.1.11-PT	1.1.12-PT	1.1.14-PT	Service Pack		
1.1.12	1.1.14-PT	Service Pack			
1.1.12-PT	1.1.14-PT	Service Pack			
1.1.13-PT	1.1.14-PT				

現在 1.1.13-PT でご使用のお客様は、既に Service Pack が適用されているため、Service Pack の更新は不要です。

### 1.3. 初期化してからアップデートする (proNASVG 未作成) 場合

初期化直後等、proNASVG 未作成の場合は、目的のバージョンへ一気に更新することが出来ます。中間バージョンを順番に更新する必要はありません。

現在のバージョン	更新の順番	
1.1.07	1.1.14-PT	Service Pack
1.1.11-PT	1.1.14-PT	Service Pack
1.1.12	1.1.14-PT	Service Pack
1.1.12-PT	1.1.14-PT	Service Pack
1.1.13-PT	1.1.14-PT	

現在 1.1.13-PT でご使用のお客様は、既に Service Pack が適用されているため、Service Pack の更新は不要です。

## 2. アップデート前の作業・注意事項等

使用している機能によって、アップデート前に行っておく作業や注意事項があります。

機能	作業・注意事項等
各サービス	各サービスのステータス(実行中 or 停止中)を記録しておいてください。同様に、ブート時に有効」にチェックが入っているサービスを記録しておいてください。
各種スケジュール機能	スナップショット・バックアップマネージャ・Rsync・ファイルクローン・proBackup・レポート・スケジュール停止・スケジュール開始などのスケジュール機能を使用している場合は、一旦無効にしてください。
ドメイン認証	Active Directory や NIS に参加している場合は、ログアウト(認証解除)せずにアップデートを行ってください。
proNAS HA	クラスタ、および proNAS HA サービスを一旦停止してからアップデートを行ってください。
テープドライブバックアップ	1.1.12-PT 以前のバージョンで、テープドライブバックアップを使用している場合、アップデート後にバックアッププランを引き継ぐことが出来ません。アップデート前に一旦バックアッププランを削除し、アップデート後に再度バックアッププランを作成してください。 また、アップデート前にバックアップしたデータをアップデート後にリストアすることが出来ませんのでご注意ください。 1.1.13-PT でテープドライブバックアップをご使用の場合は該当しません。
UPS 連動シャットダウン	1.1.12-PT 以前のバージョンで、APC 社製 UPS との連動シャットダウン機能を使用している場合、設定情報の互換性が無いため、アップデート後に再設定する必要があります。 1.1.13-PT で、APC 社製 UPS との連動シャットダウン機能をご使用の場合は、該当しません。

### 2.1.各サービスの確認



システムマネージャ( ) > サービスタブ( )を開き、各サービスの現在のステータス( )と、「ブート時に有効」( )にチェックが入っているサービスを控えておきます。

## 2.2.proNAS HA をご使用の場合

手順1: proNAS HA 設定画面を開き[クラスタを停止]( )をクリックします。

The screenshot shows the HA configuration page. At the bottom, the button 'クラスタを停止' is highlighted with a red box. The interface includes sections for 'プライベートネット', 'ホスト', and 'リソースグループ'.

ノード	ホスト名	ステータス	IPアドレス
ローカル	Main	ノードアクティブ	192.168.100.100, 172.16.0.100
ピア	Rinji	ノードスタンバイ	192.168.100.110, 172.16.0.110

名前	ローカリス...	ピアステー...	アクティブ...	主要設定
PT_RESOURCE...	アクティブ	スタンバイ	Sankin_Main	ABI:true, ASB:true

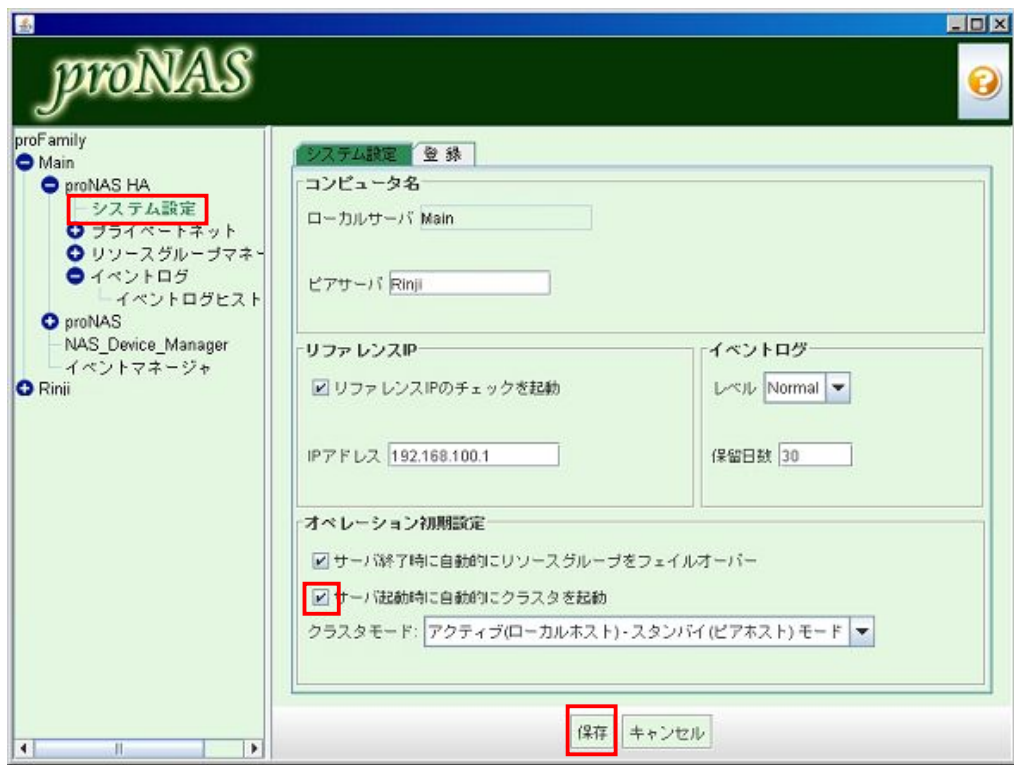
手順2: ステータスが「ノードダウン」( )に変化したことを確認します。

The screenshot shows the HA configuration page after the cluster has been stopped. The status of both nodes is now 'ノードダウン', which is highlighted with a red box. The 'クラスタを停止' button is no longer highlighted.

ノード	ホスト名	ステータス	IPアドレス
ローカル	Main	ノードダウン	192.168.100.100, 172.16.0.100
ピア	Rinji	ノードダウン	192.168.100.110, 172.16.0.110

名前	ローカリス...	ピアステー...	アクティブ...	主要設定
PT_RESOURCE...	非アクティブ	非アクティブ	Main	ABI:true, ASB:true

手順3: proNAS HA > システム設定( )を開き、[編集]( )モードにしてから、「サーバ起動時に自動的にクラスタを起動」( )にチェックを一旦外し[保存]( )します。(チェックを入れて使用している場合のみ)



メイン機・サブ機共、この作業を行います。

手順4: システムマネージャ( ) > サービスタブ( )を開き、proNAS HA service を選択し、[停止]( )をクリックします。ステータスが「停止中」になることをご確認ください。「ブート時に有効」( )にチェックを入れている場合は、一旦外します。



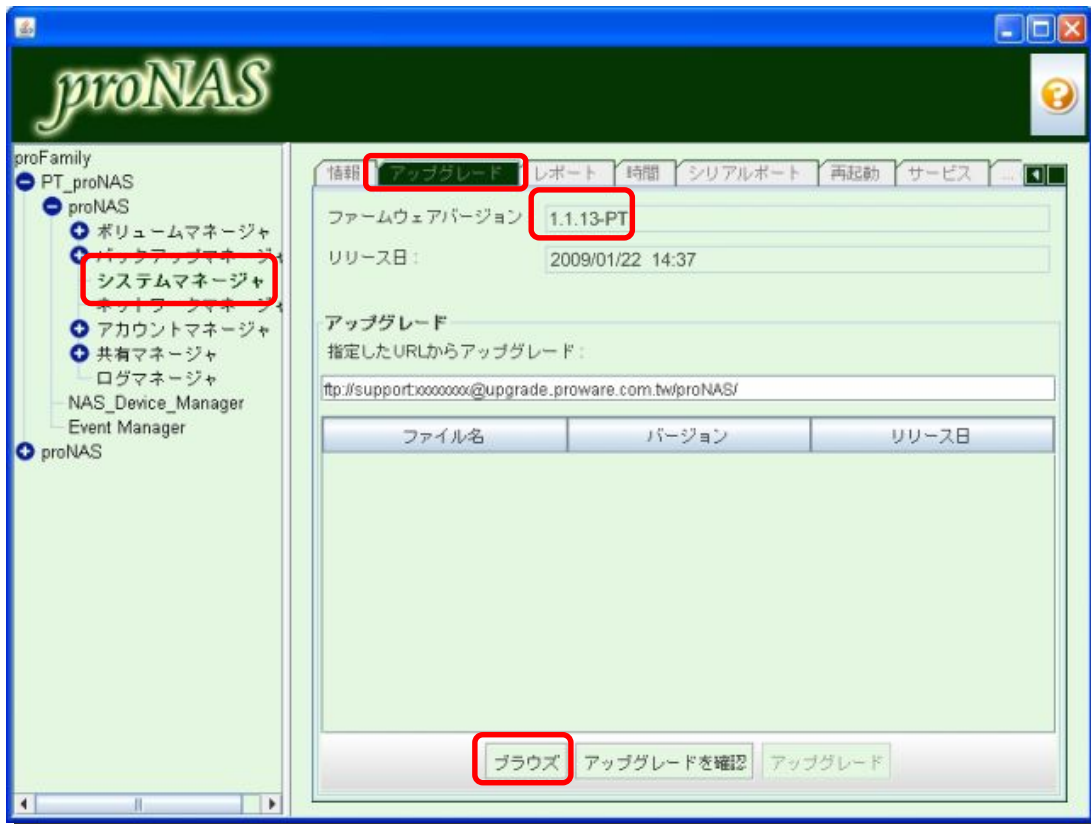
メイン機・サブ機共、この作業を行います。



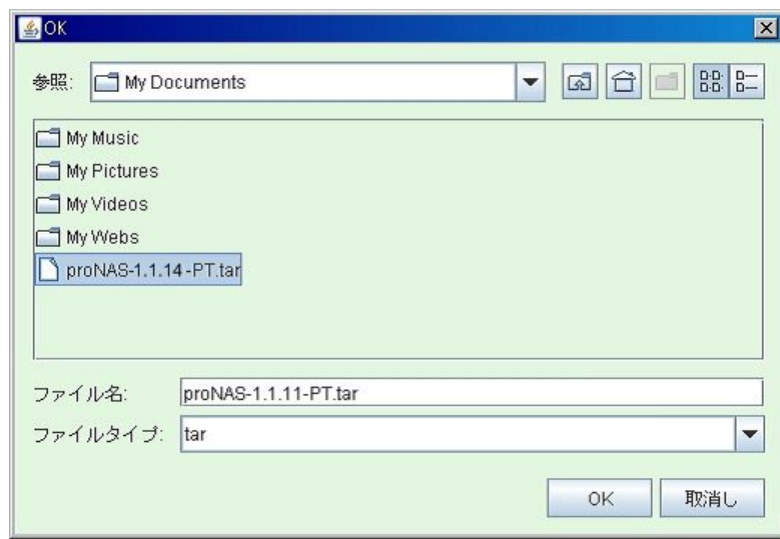
### 3. アップデート手順

#### 3.1.proNAS OS のアップデート

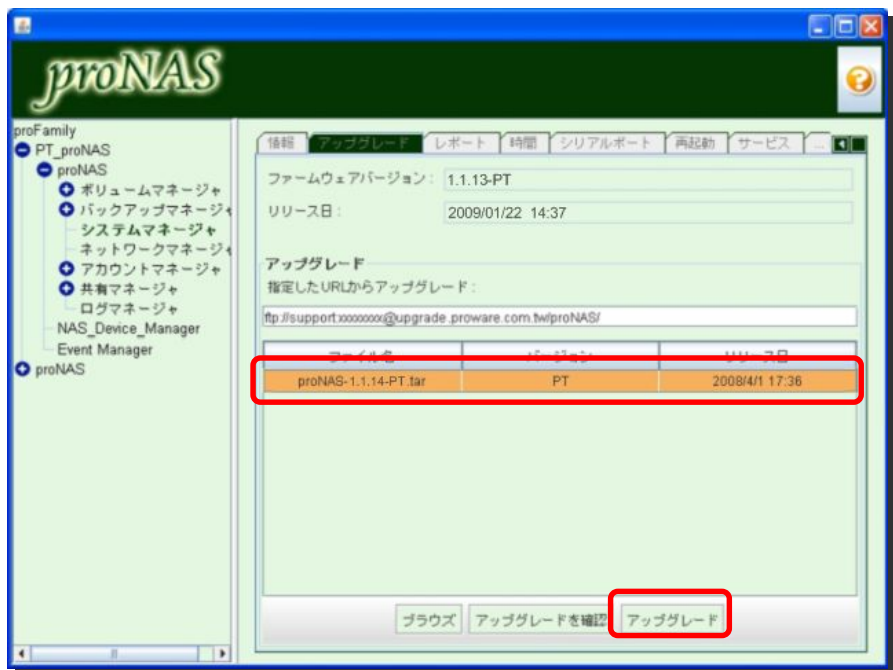
- 手順1: ファームウェアイメージを PC の任意の場所に保存しておきます。  
手順2: 「システムマネージャ」をクリックして( )、「アップグレード」タブを開きます( )。



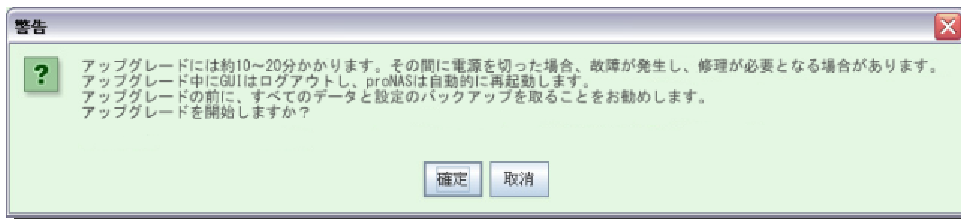
- 手順3: 現在のファームウェアバージョンを確認し( )、[ブラウズ]をクリックします。( )  
手順4: イメージファイルを選択し[OK]をクリックします。



手順5：  
更新するファイル名を選択し  
( )、[アップグレード]をクリックし  
ます( )。



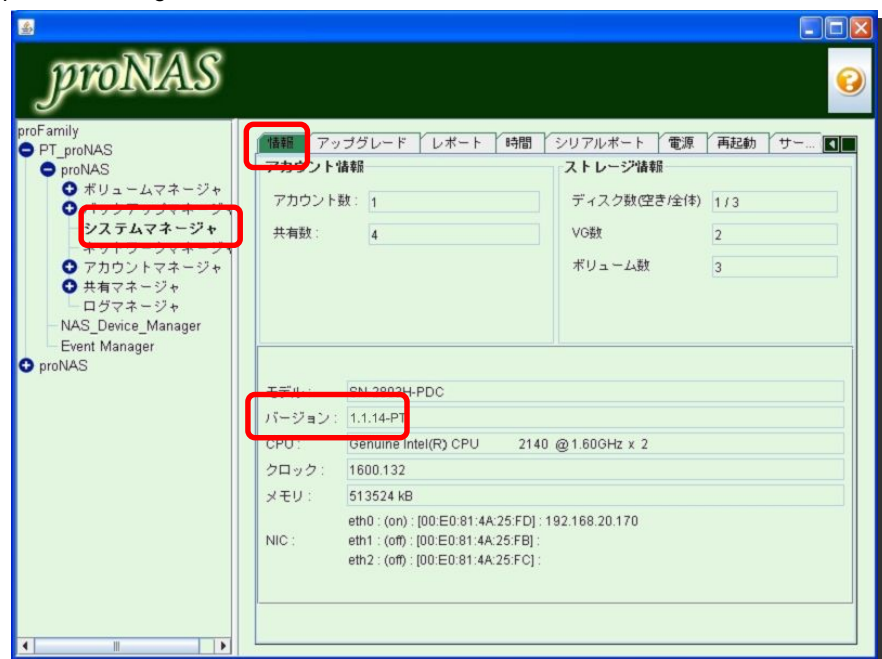
手順6： 下のような画面が表示されたら、[確定]をクリックします。



手順7： proNAS Manager から自動的にログアウトされます。システムが再起動したら、一度 proNAS Manager を閉じて、再度ブラウザから proNAS Manager にログインしなおしてください。

手順8：  
「システムマネージャ」をクリックし  
( )、「情報」タブをクリックします  
( )。

バージョンを確認し( )、更新され  
ていることをご確認ください。



### 3.2. Service Pack のアップデート

作業手順は proNAS OS のアップデートと同じですが、Service Pack アップデート後、バージョン表記に変化はありませんのでご注意ください。



## 4. アップデート後の作業・注意事項等

### 4.1. 全般

機能	作業・注意事項等
日時設定	システムマネージャ > 時間タブで、正しいタイムゾーン(時間帯)・日付・時刻に設定されていることをご確認ください。
各サービス	各サービスのステータス(実行中 or 停止中)をアップデート前と同じであることをご確認ください。異なっている場合は手動で変更してください。同様に、「ブート時に有効」にチェックが入っているサービスがアップデート前と同じであることをご確認ください。異なっている場合は手動で変更してください。
各種スケジュール機能	アップデート前に無効にしたスケジュールを、有効に戻してください。
ドメイン認証	アップデート後も Active Directory や NIS に参加していることをご確認ください。
proNAS HA	proNAS HA サービス、およびクラスタを起動してください。
テープドライブバックアップ	1.1.12-PT 以前のバージョンで、テープドライブバックアップを使用していた場合は、アップデート前にバックアッププランを削除しておりますので、再度バックアッププランを作成してください。
UPS 連動シャットダウン	1.1.12-PT 以前のバージョンで、APC 社製 UPS との連動シャットダウン機能を使用していた場合、再設定を行ってください。

### 4.2. proNAS HA をご使用の場合

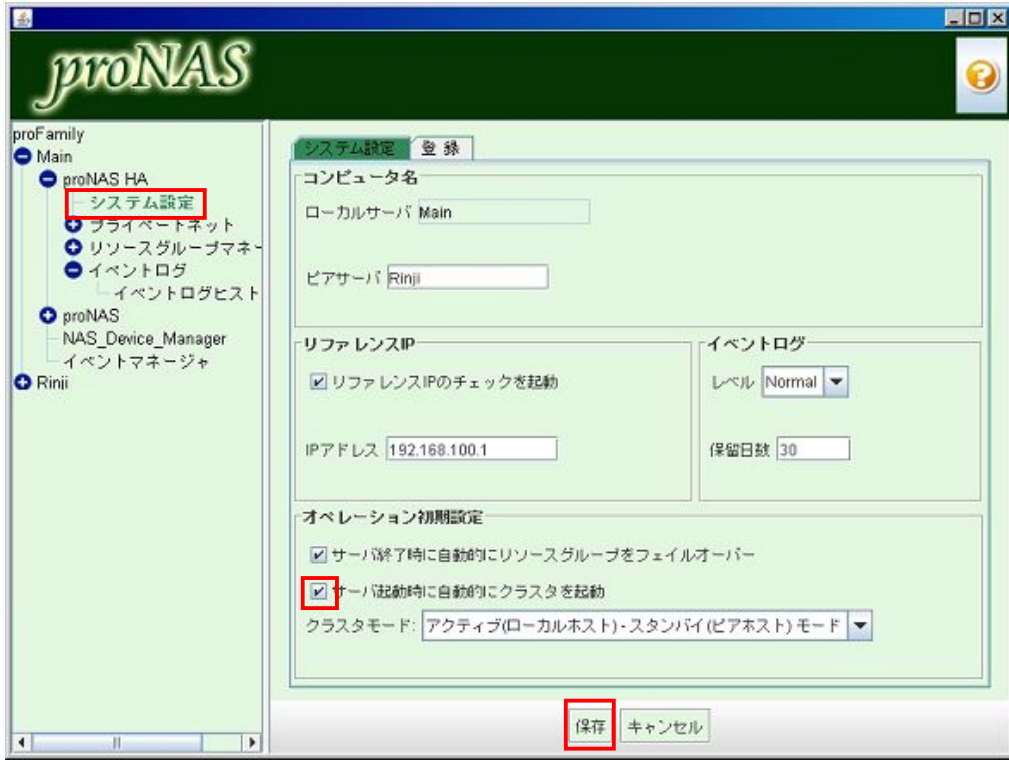
手順1: システムマネージャ( ) > サービスタブ( )を開き、proNAS HA service( )を選択して[開始]( )をクリックします。必要に応じて「ブート時に有効」( )にチェックを入れます。



proNAS HA service が開始されると、ステータスが「実行中」( )に変わり、proFamily ツリーに「proNAS HA」( )が表示されます。

メイン機・サブ機とも行ってください。

手順2: proNAS HA > システム設定( )を開き、[編集]( )モードにしてから、「サーバ起動時に自動的にクラスタを起動」( )にチェックを入れて[保存]( )します。(チェックを入れて使用している場合のみ)



メイン機・サブ機とも行ってください。

手順3: proNAS HA 設定画面を開き[ネットワークテスト]( )をクリックします。



メイン機からサブ機に対して、サブ機からメイン機に対して、プライベートネットとパブリックネットそれぞれで実行してください。ネットワークテストに失敗する場合は、ネットワーク設定やネットワーク環境を見直してください。

手順4: [クラスタを起動]( )をクリックします。

The screenshot shows the HA configuration interface. At the bottom, the button 'クラスタを起動' (Start Cluster) is highlighted with a red box. The interface includes sections for 'プライベートネット' (Private Network), 'ホスト' (Hosts), and 'リソースグループ' (Resource Groups).

タ...	ス...	設定
Ethernet	無効	HI=5, ACHL=3, 172.16.0...
RS232	無効	HI=5, ACHL=2, /dev/ttyS1...

ノード	ホスト名	ステータス	IPアドレス
ローカル	Main	ノードダウン	192.168.100.100, 172.16.0.100
ピア	Rinji	ノードダウン	192.168.100.110, 172.16.0.110

名前	ローカルス...	ピアステー...	アクティブ...	主要設定
PT_RESOURCE...	非アクティブ	非アクティブ	Main	ABITrue, ASBtrue

手順5: ノードステータスが「アクティブ/スタンバイ」( )になっていること、リソースグループステータスも「アクティブ/スタンバイ」( )になっていることをご確認ください。

The screenshot shows the HA configuration interface after the cluster has started. The status of the nodes and resource groups has updated. The 'クラスタを起動' button is still highlighted in red.

ノード	ホスト名	ステータス	IPアドレス
ローカル	Main	ノードアクティブ	192.168.100.100, 172.16.0.100
ピア	Rinji	ノードスタンバイ	192.168.100.110, 172.16.0.110

名前	ローカルス...	ピアステー...	アクティブ...	主要設定
PT_RESOURCE...	アクティブ	スタンバイ	Main	ABITrue, ASBtrue